

IGF 2023に向けた国内IGF活動活発化チーム第57回会合 発言録

2024年12月10日

【加藤】 それでは、まだお集まりになる方もいらっしゃるかと思いますけれども、予定の時刻になりましたので、第57回の活発化チーム会合をスタートさせていただきたいと思います。今日は総務省の方は、何か御報告いただく御予定はありましたでしょうか。

よろしくお願いします。

【荻原】 いつもお世話になっております。データ通信課の荻原と申します。

報告についてなんですけれども、データ課は特にアップデートの内容はございません。

アップデートではございませんが、昨日のICANN報告会について、出席しました。本活発化チームにも何名か御参加いただきましたと思いますが、その中でも懇親会含め、貴重な御意見、誠にありがとうございました。

また、次回、ICANNのシアトルが予定されているんですけれど、DNS Abuse関係について共同でセッションを予定しておりますので、今準備しております。ひとまず情報共有のみになりますので、今後、御進捗ありましたら御報告させていただければと思います。

以上です。ありがとうございます。

【加藤】 ありがとうございます。データ通信課からは、今回サウジアラビアにはお越しいただかないで、リモートでやっていただくということでしょうかね。

【荻原】 その予定であります。

【加藤】 分かりました。ありがとうございます。

ほかに総務省から御参加の方、今のところいらっしゃらないですね。もし後で御参加があればまた伺うとして、次に移りたいと思います。

総務省から、後で確認しますが、国際局のほうからは、セッション開催とか御出席の方もいらっしゃると思いますが、改めて後で伺うとして、それではアジェンダに沿って次に移らせていただきます。

MAGの御報告ということで、河内さん、よろしいでしょうか。

【河内】 はい。

【加藤】 前回以降、たしかMAGあったと思いますけれども。

【河内】 共有させていただきます。

【加藤】 よろしくをお願いします。

【河内】 11月26日の夜、恐らく最後ですけど、最後のMAGのリモート会議が行われました。もともと本当はこの2週間前に行われるはずだったのが2週間延期になりまして、メインセッションの最

最終的なパネリストの確認、みんなリモートなのか現地に来られるのかとか、そこら辺の確定作業をしているような段階で、それ以外については特にそれほど大きなことはなかったと覚えています。

ホスト国からの報告は、開催準備についてのアップデートがありました。ビザがサイトから申し込めないとか、いろいろあったみたいなんですけれども、最終的には何とかなって、200以上のビザを発給済みだと言っていました。200以上のビザということは、200人しか海外から来ないということですかね、ちょっとよく分からないですけれども。それから、会場についても、UNのセキュリティ担当者というのがいるみたいで、それが二、三週間前に来て問題ないことを確認したと。それから、国内での宣伝もSNSなどを活用して行っていて、Day 0プログラムとして、ホスト国主催のイベントをメインホールで企画。これはまだ完全に載っているか分からないですけれども、幾つかメインホールでハイレベルセッションとかが行われることになっているので、そのことを言っているんだと思います。

それから下へ行って、あと登録ですが、11月26日時点で4,000人以上が登録済み、8割がオンライン参加と言っています。国内はすごく多いということですかね、200人しかビザ発給してないですから。ちょっとよく分からないですけど。12月11日、明日がオンラインの登録の締切りとなっているそうです。

これも既にメールで連絡済み、前回の活発化チームでその話になったと思いますけれども、来年のIGFは6月末にノルウェーで行われると。今日、ノルウェーの場所を見たんですけど、オスロじゃなくて、オスロからちょっと離れた、ちょっと名前忘れちゃった、聞いたことのない町で行われるようです。なぜそこで行われるのか分からないんですけれども。オスロからそんなにひどく離れていないですけど、すぐ隣とかじゃなかったです。ちょっとある感じでした。

【加藤】 空港とオスロの町のちょうど中間ぐらいで、山崎さんも書いていらしたけど、ノルウェーで最大規模の国際会議場があるすぐ横という感じですね。多分そこでやるということかなと。

【河内】 じゃ、オスロから遠くないということですね。地図上でちょっと離れている感じがしたんですけど、そうではないんですね。

【加藤】 リルストロムというので、電車で15分と、今、山崎さんが書いていただいています。

【河内】 そうなんですね。そんなに近いんですね。ほとんど……。

【加藤】 ほとんどオスロでやるというイメージですね。

【河内】 分かりました。

それから、来年のMAGの推薦、例年とは違う方式で決めるということで、1人、MAG経験者とワーキンググループの経験者が2人まで推薦できるという方法で、この時点ではまだ26日ですのでやっています、11月28日までに推薦をしてほしいと言っていました。

IGF 2025、来年の詳細な情報はいつウェブサイトに掲載されるか、来週の月曜の予定とこのときは言っていましたが、まだあまり載っていないです。さっき私が見た範囲で、町の名前と日付が載っただけですので、それ以上はまだ載っていないと思います。もし間違っていたらおっしゃってください、皆さん。

それから、メインセッションはさっきちょっと言いましたが、最終的なスピーカーとモデレータの

調整をしていると。あと、最終的なシナリオの修正をしているということでした。

それから、これは事務局、MAGの会議の時間とかも、これはまだ確定じゃないので、今まだプログラムに入っていないので、ちょっと分らないです。

あとは、MAGのワーキンググループで、IGFのストラテジーに関するワーキンググループというのが、多分三、四年ずっとあるやつなんですけど、そこでビジョンドキュメントという、最終的な提言みたいなものをまとめていまして、これは全ての人からのコメントを募集して、それを考慮した上で、ヴィントン・サーフが議長をやっているリーダーシップパネルにも送って、そのコメントも入れた上での最終版をMAGとして承認してほしいとこの会議のときに言っていました。これは火曜日から何かにあったんですけど、その週の金曜日までコメントを受け付けて、その翌週の月曜日に正式に公表するとそのときは言っていましたが、ちょっとまだウェブ上どこか載っているのを私は見つけられていませんが、どこかに載っているのかもしれませんが。小さいですが、一応ここに書いてあるURLで最終版にアクセスできるんじゃないかと思います。

それからあとは、各ワーキンググループとかの報告です。Youth Engagement、若者をいかに引き込むかという活動を行っているワーキンググループ、ワークショップの評価のプロセスのワーキンググループ、それからmultilingual、英語だけではなくていろんな言語に、少なくとも国連の言語にいろんなドキュメントを翻訳して、より多くの人たちにそれを読んでもらうべきじゃないかというワーキンググループなどの報告がありました。

簡単ですけども、そんな感じです。以上です。

【加藤】 ありがとうございます。

河内さんとかMAGに関して、何かご質問ございますでしょうか。特にありませんか。先ほど河内さんがおっしゃられたビジョンドキュメントは、一応MAGとして正式にストラテジーの提案をするという内容で、もう今の時点では公開していただいてもいいということですね。

【河内】 はい、もう大丈夫なはずです。ただ、今、ホームページ上どこに載っているのか、私は見つけられていないんですが。

【加藤】 このサイトを見ていればいいですね。

【河内】 ここだと思うんですけど。

【加藤】 もし御質問なければ、後でも結構ですけども、特にオスロの内容、ロジ等について、御質問あれば後でも結構かと思えます。今、河内さんに今のストラテジードキュメント、ビジョンドキュメントを張りつけていただいたので、また別途御覧ください。

今の期間に、飯田様と、それから恩賀課長に御参加いただいたので、順番を入れ替えてしまいましたけれども、もしよろしければ飯田様のほうから、政府のほうのアップデートをいただければと思います。いかがでしょうか。

【飯田】 我々も今、泡を食って準備していまして、金曜日の夜、出発するんですけども、総務省から総務審議官と、あと以下4名、私も含めて現地に行きます。ハイレベルセッションとかメインセッションとかに呼ばれているのもあって、幾つか登壇してお話しするのがあるのと、あと、総務省と

して2つオープンフォーラムをホストしていますので、そこでは、1つは日曜日、Day 0の166番、京都の振り返りということで、WSIS+20に向けてということで、インターネットガバナンスについて議論をしようというセッションです。それから、月曜日のほうは26番だったかな、AIについてのセッションでして、これは広島プロセスを含めてAIガバナンスの議論をしてもらおうと思っております。

あんまり中身は、出たとこ勝負というところはあるんですけども、今、大体スピーカーの願いはしていますので、もし御関心があればお聞きいただければと思いますのと、実はテックとアカデミアのところが空いていまして、もし御希望があればパネリストとして御参加いただくこともできる状態ではございます。特に166のほう、まだ3人か4人のパネリストの状態ですので、もし御関心あれば手を挙げていただいてもと思います。私がモデレータをやることにはなっていますので、もし御参加いただく場合には打合せをさせていただいて、ちょっとポイントをとっております。

あと、今回は、GDCとか議論があったこともあって、25年にどういう議論が展開するかということの試金石みたいなところもありますので、我々も、しゃべるほうはともかくとして、特にインターネットガバナンス、あるいは、そのほかでいうとAIとか、そういうセッションでどんな議論とか、どんな関係者が集まっているかということを見てきて、来年の対策にも役立てたいと思っています。大体そんなところで、総務審議官は火曜日まで、我々は水曜日まで現地におりますので、何かあればお声がけいただければと思います。

ということで、非常に雑駁で、とっ散らかってしまっていて、私も全容がまだ頭に入っていないもので大変申し訳ないのですが、今お話しした2つのオープンフォーラムについてはフライヤーを作っていますので、出来上がったらまた皆様にもお送りしたいと思っておりますので、ぜひ御参加いただければと思います。

以上でございます。

【加藤】 飯田様、ありがとうございました。

飯田様への質問は、皆さんいかがですか。ぜひDay 0の166番とか、これ、リモートでも可能ですよね。

【飯田】 当然可能です。

【加藤】 日本と6時間の差なので。ただ、現地の午前中だと、こちらが結構厳しい時間かもしれないです。

【飯田】 そうですね。日曜日なので、結構リモートでも断られたりしてしまっていて、若干苦戦しているんですが、現地ではなるべく人が来てくれればいいなとは思っていますけれども。今回、両方ともセッションにユースを呼んでいまして、これはちょっと期待をしています。去年、京都でやったこともあって、ユースとパイプができて、彼らはグローバルには非常にアクティブですので、これまた日本の若い方ともうまくつながっていくようになったらいいなと思っているんですが、今回はセッションに呼んでいるという状態でございます。

【加藤】 ありがとうございます。

河内さんから手が挙がっております。河内さん、お願いします。

【河内】 飯田さん、ありがとうございます。ハイレベルセッションに総務審議官の方が出られるというお話だったと思うんですけども、どのセッションとかってもう決まっていっちゃいますか。

【飯田】 呼ばれているのが、ちょっとお待ちください。

【河内】 何日目とかでも。多分一番上のセッション、ハイレベルセッションなので、一番メインのホールですよ。

【飯田】 ハイレベルセッションは、タイトル忘れちゃったんですけど、Day 1の……。

【河内】 オープニングの後、午後とか。

【飯田】 ぐらいのやつですね。人がいっぱい出るやつです。ICCがホストをしていたかな。それはメインセッションだったかな。何か2つ、ハイレベルセッション1つ、メインセッション1つあったかなと思います。

【河内】 ありがとうございます。

【加藤】 ありがとうございます。

ほか、御質問いかがでしょうか。特に皆さんよろしいですか。もし後でも質問が出てきたら、飯田様がいらっしゃる限り御質問いただければと思います。同時に、恩賀課長も御参加いただいたようですが、恩賀様、もし何かコメント等いただくのであれば。先ほど昨日のICANN報告会について簡単に触れていただいたんですけども、恩賀様からは特に何かアップデートいただくことがありますでしょうか。

【恩賀】 恩賀でございます。

先ほどうちの荻原から御報告させていただいた以上に特段ございませんけれども、IGFにつきましては、我々データ課のほうは、オンラインのほうでさせていただく予定でございますので、またよろしく願いいたします。

以上でございます。

【加藤】 ありがとうございます。

それでは、政府関係の方からの御報告というのは、これぐらいでよろしいでしょうか。皆さん特にございませんか。

それでは、次に移らせていただきたいと思います。

【飯田】 すみません、せっくなので、総務審議官が出るのが、メインセッションがDay1の14時からの「Global Access, Global Progress」というセッションです。14時から16時のメインセッションって結構長いです。それから、その後すぐにハイレベルセッションが16時15分からありまして、これが「From Summit of the Future to WSIS+20」という非常に王道的なトピックですけども、この2つに登壇する予定になっております。

【加藤】 一旦政府からの御報告はこれで打ち切らせていただきまして、アジェンダに沿って、次はNRIですね。これについては河内さんか山崎さん、何かございますか。前回からほとんどアップデートがないような状況かと思いますが。山崎さん、よろしくお願いします。

【山崎】 では、これは河内さんに作っていただいたんですけども、私のほうから報告しましょうか。11月18日、ちょうど前回の活発化チーム会合の直後に、夜遅くですけど開催されました。内容は、主にNRIsのメインセッションのアジェンダ案について検討したということで、スピーカーは決まっていますし、時間配分までかなり細かく詰めたということで、安心して本番に臨めるんじゃないかと思っております。

その後、NRIs Coordination Sessionについてもドラフトアジェンダを検討したということになります。GDCも含めたセッションタイトルということで、たしかこれはそのように修正したんじゃないかと思っています。

ほかのCollaborative Session、3つあるんですけど、その準備状況は時間切れで、メーリングリストでということでした。

私が担当しているCollaborative Session on Inclusion、これについては12月5日に会合がありまして、IGF事務局の担当のアーニャさんが何か超お忙しくて、2つミーティングを同じ時間に掛け持ちしているということでほとんど出られず、代わりにホスト国サウジアラビアのユースの人、メールアドレスが大学、教育機関っぽかったので、大学関係者だと思いますけれども、その方が1人で全部仕切っていて、めちゃくちゃ早口で能率のいいミーティング運びで30分で終わりました。さきに挙げたNRIs Main Sessionみたいに、時間割まで決まっているレベルで、細かいところを詰めるということで、こちらも問題なくできるんじゃないかと思います。

ほかの2つ、Collaborative Sessionについては、加藤さん、河内さん、アップデートがもしあればお願いします。

【加藤】 河内さん、いかがですか。

【河内】 Disinformationのセッションというかグループは、オンサイトモデレータがオンサイトに来られるかどうか分からない、候補が分からないということになっていて、そこで駄目ならバックアップで別の人にするというところで、まだ確認中というメールが先週来ている状態です。その後はメールが来ていないので分からないですけど、ほかのスピーカーとかパネリストとかはみんな決まっていると思います。

【加藤】 私、加藤のほうはEmerging Technology、AI、この部分についてももうセッションのスピーカーが決まっております、特に大きくアップデートとかはありません。

先ほどのNRI本体ですけども、11月18日は、さっきもお話があったとおり、事務局のアーニャさんがとにかくこのところいろんなことですごく忙しいというので、直前に、日本時間の9時から10時の予定が23時に変更ったり、いろいろばたばたした会議でありまして、ここに書いていただいたとおり、40人ぐらいですけども、ここのまとまったことプラス、最大2分ずついろんな人がコメントをするような形で、なるべくいろんな人にしゃべってもらうにはどうしたらいいかということを主に議論のやり取りがあったというのが一番印象的でした。

あと、WSIS+20に関して、IGF側でもウェブサイトを作って、その動きを報告するというのもその中で報告があったと思います。ということで、IGF側も非常に今WSIS+20を意識して、NRIもそういうことが中心で議論されていくのかなと思いました。

私のほうからは以上です。

NRIに関して御質問ありますでしょうか。特にございませんか。

Collaborative Sessionは特に、ちょっとスケジュール表からは見にくいんですが、メインセッションルームではなくてワークショップの部屋のようなものがありますので、それを拾っていただいて、ぜひ御興味があれば御参加いただきたいと思います。ということで、NRIについてはこれでよろしいでしょうか。もし御質問なければ次に移らせていただきます。

それでは、元のアジェンダに戻していただいて。元のアジェンダでいきますと、その他の会合か何かでしたっけ。NRIの次はその他の会議／イベント等の情報共有というのがアジェンダ項目でしたが、特に何かございますか。今やもう今週直前ということで、サウジアラビアのIGF情報が中心だと思いますので、何かあればですけども。

あると言えば、来年の6月のノルウェーが決まったとか、その辺かなということですかね。前回も山崎さんから御指摘いただいたとおり、例年なら11月とかにある年次総会が6月になるので、全てが前倒しになると。まだ何も発表されませんが、多分事務局は今度のサウジが終わった後も、いろんな手続を早速また次のためにスタートしなきゃいけないということになるのかなと思います。その辺もサウジに行ったチームでいろいろと情報があれば持ち帰りたいと思っています。ということで、アジェンダ項目としては次に移らせていただきます。

本チームの今後ですけども……。

【山崎】 すみません、山崎ですけど。

【加藤】 山崎さん、お願いします。

【山崎】 今後のスケジュールのところでちょっと御相談したいので、スライドを映させてください。

【加藤】 お願いします。できるだけ大きく拡大、ありがとうございます。

【山崎】 上に映っている図は、ITUのWSIS+20のところから拝借したんですけども、ここにはないんですが、4月にCSTDのレビューがあって、7月にITUほかが開催するWSIS+20 High-Level Event 2025があって、その間にIGF 2025が入るということ。

【加藤】 そういうことですね。書いていないですね、ここに。

【山崎】 これは、決まる前に作ったスライドなんだと思います。それに合わせるとすると、国内IGFをその前に開くとすると、5月中もしくは6月に開催したほうがよさそうですかという御相談です。もしそうするのであれば、2月に走り始めて、3月中にはセッション公募を完了させる必要があると思います。今年が9月に公募して11月頭だったので、それでかなりぎりぎりでしたので、同じようにぎりぎりになると思いますけれども、これが最低ラインかなと思います。

そうすると、IGF2024の報告会は1月中にしないと間に合わないかなというスケジュールです。いろいろな考え方があると思ひまして、例えば別にGlobal IGFの前に何が何でもやる必要はないだろうとかあるのかもしれませんが、皆さんいかが思われますか。Global IGFの前に来年の国内IGFをやったほうがよいと思ひられますかというのが、私から皆さんにお伺いしたかったことです。

【加藤】 皆さんいかがでしょうか。もう一つ、APrIGF、ネパールがどうなるのかというのを書いていただきました。これ全部確かにスケジュールを考えないといけないというタイミングになってきました。皆さんいかがでしょうか。

【山崎】 恐らくは、APrIGFはGlobal IGFより前にやるんじゃないかと思いますが、私を知る限りは、いつ開催という時期はまだ発表されていないと思います。もし御存じの方がいらっしゃったら共有していただければと思います。

【加藤】 台湾でネパールが決まったことの発表以外は、多分時期の発表はなかったんじゃないかと思います。ノルウェーの発表がまだ先日あったばかりなので、それでいろいろ調整しているかもしれないですけども。皆さんいかがでしょうか、考え方として。何か御意見ございますか。

河内さん、お願いします。

【河内】 前にやるか後にやるかは、どっちがいいというのは、皆さんもっと長くやってこられている方々が多いので、その辺は何とも私には言えないんですけど、1つは、この後でまた別件の話になると思うんですけど、前回の活発化チームのときにも話が出ていた、この活発化チームに合わせて勉強会みたいのをやったらどうだというのがあって、例えば今回のリヤドの報告会とかは、もともと勉強会は1時間ぐらいでという話なので、1時間だと短いかもしれないんですけど、そのときだけでもちょっと時間を延ばすなりして、それと併せてというか、そういう形で報告会をやるとか、あと、前に完全な国内のIGFができなかったとしても、勉強会でいろんな発表とかを毎回1件ずつでも2件ずつでもいいんですけど、そういうふうにやっていって、Global IGFが終わってから秋にまたやるとか、いろんな考え方があるかなと思うんですけど、活発化チームでやる勉強会とかも併せて検討したらどうかなと思いました。

【加藤】 河内さん、ありがとうございます。今、河内さんが触れていただいた勉強会に関して、後で河内さんからまた御意見を御披露いただければと思っています。

ほかの方、御意見いかがでしょうか。特にございませんか。今日、堀田さんとか前村さんとか、御意見ありますか。勝手に御指名して恐縮なんですけれども。長年御参加の堀田さんとか高松さんとか。

【堀田】 堀田です。

6月のミーティング、IGFというのが1つの節目で、みんな何が話されたとか、結果どうなったかということを知りたい人も多いだろうと思うので、Global IGF 2025の後で報告会をしっかりやるというのは、河内さんの御意見とは別に、それはそれでやったほうがいいのかなと思いつつ聞いていました。

以上です。

【加藤】 ありがとうございます。

ほかはいかがでしょう。

【前村】 前村です。

ちょっとイレギュラーなタイミングでやるので、いろんなアイデアがあり得ると思うんです。例えば、月例会で少しずつこなしていくというのもあるでしょうし、あるいは、6月にやってしまうのであれば、報告会的な内容と年次会合的な内容をまとめてやるという方法もあるんです。ただ、これはど

ちらかという縮退方向の考え方なもので、それに難があるという話があるのかもしれないなど。なので、帯に短したすきに長しみたいなことをどうやって調整するかということなのかなと思いました。もう少し議論を重ねると、何かいい答えが出てくるのかもしれないという感じがしました。

以上です。

【加藤】 ありがとうございます。

ほかの方、いかがでしょうか。今日結論を出さないといけないということではないんですけれども、早めに、特に今回のリヤドの報告会をやるとして、山崎さんの御指摘の公算からすると、その報告会は早めにしないと、次の準備を早くすることだと間に合わなくなってしまうということがあるわけで、それ、どちらも関係したことですけれども、2つの違った会議の御質問があったと思いますが、1つは、今度のリヤドの会議の報告会をいつやるかという話。これは今、河内さんからは、毎月勉強会とかをやることも組み合わせながら、そういう機会をさらに拡大してやるという案もあるという御提案をいただいたのだと思います。

それから、日本IGFを年に1回はやるという、この報告会ではなくて、今年も11月にやった日本IGFを年に1回やるというのは、これはNRIとして日本で我々が活動している中で、年に1回は最低IGFの国内会議をやるという要件があるわけですが、それに合致するということであるとすると、本会議の前であるか後であるかというのは、必ずしも決まりがないのかなと思うんです。だから、2025年の日本IGFをいつやるかというのは、要件としてはノルウェーの後でもいいのかもしれないし。もしそうだと、今、堀田さんの御指摘のノルウェー後、それからWSIS+20の結果どうなっていたか、今後のIGFはどうなるかということも含めて、かなり重い会議をやるという案も1つ——何か折衷案というか、うまく組み合わせた案ですが、あるのかもしれないし、いかがですかね。

その辺、今回リヤドでいろいろ情報を取って、それらを持ち帰って、次回、1月頭に検討している会議で御提案して、方向性を決めさせていただくということでいかがでしょうか。さらに何か御意見はございますか。

書いていただいたとおり、国内IGFの開催時期を後にするということになると、ノルウェーの報告会も兼ねてという形になるのかもしれないですね。IGF 2025報告会と兼ねる可能性もあると。NRIの要件として、我々が日本IGFをやっているという意味においても、そういうやり方でもいいのかなと思いますし、恐らくいろんな国のIGF、これでスケジュールがかなり変わって、同じ問題を抱えているんじゃないかと思います。そういう意味では、もう今週末からですので、そこで情報を取って、それを共有しながら1月頭のチーム会合で決めるということでいかがでしょうか。何かさらに御意見ございますか。

【前村】 そんな感じでいいんじゃないかと思います。

【加藤】 ありがとうございます。リヤドの報告会はなるべく早めにやると。その場合に、どれぐらいの時間をかけてどういう形でやるかについては、1月の会合で御提案いただいて決めると。それで、河内さんの御提案のとおり、後で何う勉強会と結合するという方法も1つのオプションかなと思います。

もしほかに御意見なければ、山崎さん、問題提起ありがとうございます。いつも全体の流れを見ていただいて大変ありがとうございます。来年は本当にいろんなことが起こって忙しい年になるような予感がいたしますが、ぜひよろしくお願いします。

それでは、次のアジェンダとして、さっきからお話が出ております、あとIGF 2024、それから勉強会の日程・発表者ということで、前回、月ごとか2か月ごとかもしれませんが、活発化会議のときに、そのうちの1時間は勉強会のような形で、何か具体的なイシューを議論したり、ご発表いただく会にしようかどうかということで、大体そういう方向でさらに詳細を検討しようということになったと思いますが、河内さんのほうからもう少し具体的な御提案を用意していただいたので、よろしければまずそれを皆さんに御披露いただければと思います。河内さん、よろしくお願いします。

【河内】 共有、こちらでさせていただきます。活発化チームの会合に合わせたウェビナーの企画についてですけれども、前回の会合でそういう話をいろいろ御議論いただいて、基本的にはリモート開催とするが、3、4ヶ月、2、3ヶ月か分らないです、何回かに1回はハイブリッド開催で、来られる方は現地に来ていただいて、ウェビナー、勉強会みたいなものをしてはどうかということで、目的としては、IGF 2023京都の終了後、活発化チームの目的は、日本国内のIGF活動を活発にしていこうとあって、現在のIGFで扱っているデジタル社会における幅広いテーマや課題について有識者の話を聞き、情報・意見交換を行うということで勉強会をしてはどうかと考えています。

スケジュールですけど、これはあくまで案なので、そのときとか講師の都合とか運営側の都合とか、いろいろあると思うので、フレキシブルに決定したらいいと思いますが、一応案というか例としては、例えば活発化チームを5時〜6時で1時間やって、あとウェビナーを1時間やるとか、これをひっくり返して、ウェビナー、勉強会を先にやった後でチームの会合をやっても、どちらでも構わないと思うので、その辺は皆さんの御意見をいただければと思います。

それから、企画、運営、システム担当、これも暫定ですけれども、一応企画は活発化チームの企画として、運営の担当は、よろしければ私と、どなたかお手伝いいただける方がいれば、それで当面は運営していければと思います。それから、システムは、いつも非常に恐縮なんですけど、山崎さんをお願いできればと思っています。ハイブリッドで開催する際には、もしよろしければCFIECの会議室は、ほぼほぼこの時間であれば空いているので、使っていただければとは思っています。

それから、ウェビナーの講師、勉強会の講師ですけれども、基本的にボランティア、無償でやっていただける方をお願いするというのが取りあえずの方針になるかなと思います。なので、録画とか録音とか資料配付等についても、講師の方の御希望でやればいいと思います。なるべく二、三か月前にどの方にもどういう話をしてもらおうという提案をつくった上で、皆さんの御意見をいただいた上で決めていければと思います。

具体的な企画案ですけれども、これは先ほど話が出ましたが、今週、来週、サウジアラビアでのIGFがありますので、現地に行かれる方、また日本からリモートで参加される方もいらっしゃると思うんですが、これの報告会を、私が考えたときは簡単な報告会を考えていたんですが、もうちょっとちゃんとしたほうがいいのであれば、それこそ1時間ではなく、もうちょっと長くやるなり、活発化チームの会合とは別の日程でやってもいいかなとは思いますが、取りあえずこういうのもあるかなと思って1つ入れてみました。

それからあともう一つ、これもあくまで案であって、お願いしたらどうかなと思っているJICAの山中さんには、メールは送ったんですけどまだ返事が来ていないので、了解はちゃんと取れていないんですが、例えばデジタル公共財について、JICAさんでもいろいろやられているという話をちょっと前

にちらっとおっしゃっていたので、デジタル公共財について、それはどんなものかとか、どういう重要性があるのかとか、国連とか国際機関でどのような取組をしているのかとか、可能な範囲でJICAさんでどんなことをされているのかとか、そういう話を聞いてはどうかなと思いました。

あと、ここは案がまだあまりなくて、キーは講師の方に無償でお話しいただくというところなので、そういうことが可能な方にどんな話をしていただけるかというのをもうちょっと幅広く考えていきたいと思いますので、皆様の御意見もいただければと思います。

以上です。

【加藤】 河内さん、ありがとうございます。皆さんいかがでしょうか。幾つも論点はあるかと思いますが、ぜひ御意見いただいて、少しずつでも実現できるといいかなと思うんですが、いかがでしょうか。

まず、時間とか、最低限、これを企画、運営、システムのこのチーム、この辺りは、これは必ずこの形でやるということではないですが、よろしいでしょうかね。こういうことをやるということを含めて。

【河内】 あくまで暫定というか、取りあえずこれでスタートするという感じでもいいかなとは思っています。

【加藤】 前回堀田さんから、ウェビナーといいますか、勉強会の時間は、後半の6時のほうが参加しやすいんじゃないかという御意見があって、この案にはそういうふうに書いていただいているということですね。日程も月曜日とは必ずしも決めなくて、講師をやっていただく方等の都合も考えて、日時もある程度フレキシブルにすると。もちろん、なるべく早く事前通知はするというで行うと。

ウェビナーと書いていただいている趣旨は、いつもこの活発化チームに出ている人とか限られた人だけではなくて、もっと一般の方にも興味を持っていただくようなテーマで議論する場で、今まで活発化チームの活動にあまり参加されなかった方も、そのテーマなら聞いてみたいということがあれば、それは非常にありがたいことだという趣旨も、河内さん、あるということですね。

【河内】 そうです。

【加藤】 という趣旨だと理解しておりますが、皆さんいかがですか。

山崎さん、お願いします。

【山崎】 このスケジュールですけれども、あくまで例ということですが、例えばウェビナーのほうを月曜日じゃない、水曜日に仮にやるとなったら、このようにはならないというか、活発化チーム会合は月曜日にやって、ウェビナーは違う曜日に単独でやるとか、そういうイメージですか。それとも、ウェビナーに合わせてチーム会合を動かすとか、そういう感じですかという、単に質問です。

【加藤】 これは皆さんによると思うんですが、私はウェビナーも、次回は水曜日ということになれば、その会議の前回は大体スケジュールを決めて進めていくということで、活発化チームの連絡会も同じ日にしたほうがいいのかと思うんですが、いかがでしょうか。どちらも水曜日にするということですね、今の例で言いますと。

【河内】 皆さんの御都合で、ばらばらしたほうがいいという方が多ければ……。

【加藤】 それも可能ですので。

【堀田】 堀田です。

【加藤】 お願いします。

【堀田】 テーマを決めて誰かがしゃべって、みんなでQ&Aか意見交換をするというのは、IGCJでもやったんですよ。

【加藤】 そうですね。

【堀田】 やっていて、2ヶ月から3ヶ月に一回というので最初始めて、1年半とか2年ぐらいでテーマとか人が尽きてしまったというのがあるので、最初から月1回とかって飛ばすと、スピードを出すと、息切れが早いかもしれないので、最初は月1回とかじゃなくて、3ヶ月に1回とかで走り出したほうがいいのかなと。これはある意味、老婆心じゃないな、取り越し苦労かもしれないです。当時は、インターネットガバナンスに興味があるコミュニティが今より小さかったと思うので、テーマも出てこなかったのかもしれないので取り越し苦労かもしれないけど、あんまり最初から飛ばさないほうがいいのかなと、これは個人的な感覚です。

以上です。

【加藤】 ありがとうございます。その点について、御指摘のとおり、あまりオーバーコミットメントしないほうがいいのと、本当に山崎さんとか河内さんに個人的にも非常に負担をかけるということも考慮しながら、現実的な方法を考えていく必要があると思います。

あと、テーマの選定に関して、ずっと前も前村様からも御指摘いただいたんですけども、例えば技術者から見て興味があること、その他いろんなコミュニティからということで、テーマを何となく持ち回りの的にピックアップしていくという方法もあるのかなと。なるべく多くの人が企画のところで、こういう人がいるからということを考えていただくといいのかなと思いました。

前回、日本IGFは、3日間にわたって全部で11のセッションをやっていたわけですが、延べ人数でいうとかなりの方が御参加いただいて、どの方もそれぞれ十分こういう勉強会で講師をしていただくバックグラウンドをお持ちの方だなと思ったので、当面、順にお声がけしても2年分ぐらいはストックがあるのかなという印象も持ったんですが、皆さんの御都合もいろいろあるので、そううまくいくかどうかあれですけども、その辺、現実的な方法を考えながらやっていくべきかなと思います。ぜひ堀田さんも何か1つお願いしたいと思います。

ほか、御意見はいかがでしょうか。今の御指摘どおり、毎月とは限らず、2か月に1回とか、活発化チームの通常の会合の2回に1回やるとか、そういうこともその都度考慮しながら決めていけばいいという御意見だったと思います。

【前村】 前村ですけども。

【加藤】 お願いいたします。

【前村】 私もIGCJのほうはやっていますので、堀田さんのお考えは共有しているんですけども、恐らくは今、活発化チームとして寄り集まっている方々は多岐にわたりますので、もっと期待が

できるんじゃないのかなと想像しているということと、あまり気張らずに、ちゃんとしたテーマじゃなきゃいけないとか思わずに、共有したほうがいいことをいろいろと共有するし、1時間じゃなくても30分でもいいとかという感じでやっていけばいいのかなと思うんです。それで、毎月ではなくて、2ヶ月1、3ヶ月1にすればいいんじゃないのかと言い始めると、逆に何かやらなきゃいけない感が損なわれて、勢いが出ないのじゃないのかなんていうことも思いながら、ただ、息切れは体験しているので、それはそれで嫌だなと思うんです。すみません、雑感めいていますけれども、そういう考えを持っています。

【加藤】 ありがとうございます。

まずやってみますか、それじゃ皆さん。もしよろしければ、必ずしもどこまでコミットするかということなく、まず1回目からやってみるという方向で、よろしいですか、皆さん。

もしそうだとすると、1回目のテーマなんですけれども、今、河内さんから2つ具体的なものがあった、あと3つ目、4つ目は項目だけなんですけど、サウジアラビアの報告会というのは、先ほどもお話しあったとおり、1月頭にその報告会をどうするかということを決めるものと併せて、この会の1回目にそれをやるのか、別の形にするのかというのは、少し議論したほうが良いような気がします。その次のテーマとして、御提案の、山中さんがJICAとかの立場からデジタル公共財、これいかがですか、皆さん。なかなかふだん聞けない面白いテーマで、山中さんは非常にいろんなことをお話しいただいているので、もしお引受けいただけるとしたら大変面白いテーマかなという気もするんですけど、皆さんいかがでしょうか。

山崎さん、お願いします。

【山崎】 デジタル公共財については、いろんなところで出てきているんですけど、中身が何だかさっぱり分からない。私に分かっていないだけだと思いますけど、それを分かっている山中さんに解説いただけるのであれば非常に興味あるところで、ひょっとしたら、我々の一部もそこに関わるのかなという感じもするので、そういう意味では、山中さんがもしオーケーしていただけるのであれば、ぜひお願いしたいなという気はします。

【加藤】 いかがでしょうか。公式に山中さんにお声がけして、御本人からまだイエスともノーとも伺ってないので、引き受けていただけるという前提で少し話を進めさせていただいてよろしいでしょうか。その場合は、先ほど、大変恐縮ですけど、ボランティアを名のり出ていただいた河内さんが日時とか内容についても調整いただくということで。河内さん、調整いただいて、オーケーならオーケーで、こういうことをやりますというのをメーリングリストで投げさせていただいて、それをベースに1月の会議までに日時等が決まれば御案内できるというイメージでよろしいでしょうか。

【河内】 はい。1月の会合……。

【加藤】 で決めて、その次かその次でやるということですね。

【河内】 分かりました。山中さんに、日程の件とか、あと中身の話とか、その辺も相談してみます。それで皆さんにまた御連絡というか、御意見を伺うようにします。

【加藤】 あと、頭出しだけ、ここに出ているIoTセキュリティとその標準化とか、そういう動きがあるということはいろいろと伺うんですけれども、これも技術者コミュニティーの間でいろいろと

議論、検討されていると承っておりまして、素人にも分かるといいますか、そういう場を設定していただくのはどうかと思いますけど、いかがでしょうか。また前村さんに振っていいのかどうかあれですけれども、いかがですか。

【前村】 私自身にここら辺の専門性がないのですが、そこは頑張って、そういうことをやるような感じにしていける。例えば、この前の大谷辺りに引き取ってもらったりとか、そういう感じかもしれないです。

【加藤】 そうですね、大谷さんなんかにはしゃべっていただくとか、日本IGFでの大谷さんと国際チームのお話、大変面白かったんですけれども、あれをもう少し分かりやすく日本語で教えていただけると大変一般の人にも。多分表題もIoTセキュリティというよりも、身近な、冷蔵庫がつながってどういう問題があるのかみたいなほうが、何か一般の人に分かる表題をうまくつけていただくと面白いテーマかなとも思ったんですけれども。そういうことも含めて、河内さんが一緒に、今後企画のアレンジとかもお手伝いいただくというふうに理解しておりますので。技術的にこれは自分たちしか分からないからというふうに言わないで、ぜひこういう場で御披露いただいて、何が一般の人にも問題かというのを御提示いただけるとうれしいのかなと思います。

高松さん、お願いいたします。

【高松】 すみません、中身の話ではないんですけど、形式のほうで、こちらのイベントも活発化チームの今日の会合のように、全編録画で、資料と質疑は後日公開してみたいな、そういうふうなイベントになっていくものなのでしょうか。何か調整されるときに、そこはもし決まっているようだったら、あらかじめお伝えしたほうがいいのかと。

【加藤】 そうですね。河内さん、ここ、講師の希望によると書いていただきましたが、後でチューブで流せるようにするのかとか、その辺いかがですか。山崎さん、技術的にもこの辺いかがでしょうか。

【山崎】 技術的には何でもできますので、チームの希望どおりやりますが。ただ、必ず公開ではなくて、講師次第……。

【加藤】 時間がかかるんですね。全部山崎さんにやっていただくのがもう心苦しいんですけれども、その問題ですね。

【山崎】 ただ、細切れにすると時間かかりますけど、基本は1回1本講師1人だけでしょうから、単に前後で余分なところを切って公開するだけであれば、そんなに手間はかからないと思いますけど。

【加藤】 そういう形になると思います。日本IGFのようにいっぱいあるというのではないですから。

【河内】 講師の方がどんなことを話すかというのを考える際に、一般公開されるのかされないのかによっても、どんなことが話せるのかも変わってくる可能性もあると思うので、そこら辺は、活発化チームとして、できるだけ一般公開したいという希望で講師の方と交渉するのか、基本的な方針、どうしても駄目、どうしても公開しないでほしいと言われたら公開はしないというふうにするのか、その辺は皆さんの御意見を伺って決めておいたほうがいいのかという感じはします。

【加藤】 皆さん、そこはいかがでしょう。御発言の高松さんは、何か御意見ございますか。

【高松】 ありがとうございます。私は個人的な感覚では、公開しないで参加した人限定イベントにしたほうが、内容も濃くてよくなるのかなと思う部分があるので、基本公開じゃなくてもいいのかなと思いました。どうなのでしょう。後で見られるんだったら別に参加しなくていいかなと思いがちになる人が出てきそうな気がして、その点だけ、後で全部公開だと気になるかなと思った次第です。

【山崎】 山崎です。

高松さんのお考えはごもっともだと思うんですけど、インクルージョンと、あとユース育成という観点で考えると、こんな早い時間にやられたら出られないという人もいらっしゃるでしょうから、本業がいつも遅くなって見られるのは夜中しかないとか、そういう方が見られるように、録画があると助かるという方はいらっしゃるんじゃないかなという気はします。

あとは、今まだ中学生ぐらいだけど、将来そういう人が大学生とか社会人になって、こういうのを見て勉強できるというメリットも、録画なりあるとあるのかなと。どれぐらいの人が見るかというのは正直分からないですけども。先日の日本IGF2024のユーチューブの視聴者数を見ると、多くても2桁、三、四十人というところですから、2桁あったら御の字という気はしますけど。ふだんの活発化チーム会合の録画なんて、片手で数えるぐらいの人しか見てないことが多いですから。そう考えると、いろいろ考えたら基本公開だけでも、もちろん講師が、中身が微妙な中身で、公開したくないと言ったらそれに合わせるべきでしょうけどというふうにはいかがかなと思いました。

【加藤】 ありがとうございます。今議論いただいている点で、2つ違った問題があると思うんですけど、1つは、しゃべったり、プレゼンいただく内容をみんなに知らしめていいのか、限定された人にだけしかしゃべらない内容とするのかという点です。これは河内さんが公開、広く誰にでも聞かせるということなんですけども、基本的に活発化チームの御案内というのは、一応メーリングリストは誰にでも転送して、こんなのあるよと言ってもいいとなっているのかなと思うんですけど、そういう意味でいうと、もともと聞こうと思う人は限定していないのかなと思うんです。

もう一つのポイントは、誰が聞いてもいいけど、ユーチューブで、後で録画を見るというタイムシフトを認めるかどうか。これはまた1つ別の論点で、山崎さんがお手間をお取りいただくことをお許しいただけるのであれば、いろんな時間に見ていただく人で、それで視聴者が増えるというのも1つ別の論点だと思うんです。

最初のほうの、どうしてもこれは限られた人にしかあれで、録画しないでほしいという人がもし講師でいたら、それはやっぱりその人の意見を尊重するけれども、録画なり、誰が聞いてもいいというベースでしゃべるということがあれば、それを録画してタイムシフトしていただくこともオーケーというのが自然かなという気もしますけど、いかがでしょうか。高松さんが御指摘の公開しないほうがいいかという点と、ちょっと違う形にはなりますけど、いかがですか。

急に静かになったので、そんな感じかなということでもよろしいでしょうか。その辺は、河内さん、まず山中さんにコンタクトしていただいて、お考えを伺ったりして、講師の方々の御意見を伺いながら慎重に進めていくということで、皆さんいかがでしょうかね。

【堀田】 堀田です。

それでいいと思うんですけど、勉強会と呼ぶんですかね。つまり、みんなに知ってもらうのが目的

なのか、要は講師にとってのインセンティブは何なのかなと思いつつ聞いていたんですけど。

【加藤】 そういう意味でいうと、このウェビナーの趣旨は、みんなに知っていただく、その場を使ってみんなにこれを広めて、講師の方の意見を述べていただくという場かなと思っていますけれども。

【堀田】 ということは、そんなに議論は期待しないのであれば、基本公開なんですけど、嫌だったら公開しませんというのでいいのかなと思います。

【加藤】 そうですね。嫌だったらというのは、これはちょっと外には言えないんですけど言うんですけど、実はいろんな人が聞いていたら、誰が聞いているのか実際分からなくなってしまうので、そういう前提でしゃべっていただくしかないような気もするんですけどもね。

【堀田】 はい。

【加藤】 高松さん、それでよろしいですか。ちょっと雑な議論で恐縮なんですけれども。

【高松】 ありがとうございます。私は一意見としてちょっと気になったということを言いたかっただけなので、皆さんの意見で大丈夫だと思います。

【加藤】 分かりました。ありがとうございます。じゃ、大体そういう方向で、そこを注意しながら、河内さん、講師の方と話を進めていただくということで。

今日、河内さんから幾つかテーマのアイデアをいただきましたが、これ以外にもいろいろあると思うんです。こういう人のスピーチが面白かったとか、実は日本IGFで前回しゃべっていただいた方で初めてお会いした方とか、結構面白いことをしゃべっていただいたので、もう一度その人にきちっと時間を取って30分プレゼンしていただくといいかなとか、私以外にも思われた方はいらっしゃるんじゃないかと思うので、ぜひそういう方にまずお声がけをしていただければなと期待しております。

それでは、もしほかに御意見とか御質問なければ、この件はこういう形で進めていただくということで御了承いただければと思います。

スケジュールに戻っていただいてよろしいですか。今後のスケジュール、これは先ほど書いていただいた点ですね。

あと、本チームの今後ですけれども、これも前回とあまり変わらなくて、JPNICやJAIPAを中心に、いろいろと本チームの法人化の話は議論を進めていただいていると伺っております。今のところ進展があるということは伺ってないですが、もうそろそろ何かぜひ結論を出していただければと期待しておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

ということで、一応今日のアジェンダをほぼカバーしたんですが、何かほかに議題はございますでしょうか。

河内さん、お願いします。

【河内】 ここで、皆さん、誰が行くとかというわけではなくて、リヤドに行かれる方々の情報交換とかができればいいかなと思っていますんですけど、メーリングリストか何かを作っていただいているんでしたっけ、山崎さん。

【山崎】 はい、メーリングリストを作りました。今のところ私だけしか入ってないですけど、行かれる方は追加しますので、私宛てもしくはsec@japanigf.jp宛て、お知らせください。基本的には現地に行かれる方を対象とさせていただきたいと思います。

【加藤】 ありがとうございます。

【山崎】 ちなみに、今日だったと思いますけれども、IGF事務局から現地参加者向けに……。

【河内】 ロジスティクスですね。

【加藤】 ロジスティクス。

【山崎】 のファイルが共有されていますので、現地に行かれる方はこれを見ていただくと、いろいろ参考になるかと思います。

【河内】 バッジの受け取り場所とか、ホテルと会議場の間のシャトルバスの時間とか、その辺ですかね。あとは、会議場の間取りじゃないですけど、そんな感じですかね。

【山崎】 そうですね。

【河内】 間取りはこれには書いてないですね。

【山崎】 間取り書いてありましたよ。

【河内】 書いてありましたっけ。

【加藤】 ええ。

【山崎】 あれ、これじゃないか。

【河内】 これじゃないんですよ。別のやつだったと思うんです。

【山崎】 別のやつですか。

【河内】 今ちょっと手元にないんですけど、別の、それ、ここに載ってないのかな。

【山崎】 ありました。これです。7ページ目。

【河内】 これ、もっと細かいのがどこかに載っていたのは、スピーカー用じゃないですか。何か別のやつ。

【山崎】 それはスピーカー用なんじゃないですか。これだとざっくり、IGF Villageの中にいろいろ部屋がある的に読めますけど、詳細までは書いてないですね。

【河内】 はい。もっと細かく書いてあるやつがあります。でも、行けば分かるかもしれないですけどね。

【山崎】 そういう議論をメーリングリストで情報共有ができるようにできればと思っています。

【加藤】 そうですね。ありがとうございます。何から何まで山崎さんで恐縮ですけども。河内さん、政府関係の3人と、あと先ほど元ITU協会の田中さんからメールをいただいたので、田中さんも含めていただくと、追加をお願いしてよろしいでしょうか。

【山崎】 もちろん追加いたします。

【加藤】 はい。それでは、それ以外、皆さん何かございますか。

もしなければ、次回の会合ですけれども、前回の会合で1月の頭に次回をやらせていただくということとを仮決めていただいたと思いますが、1月6日月曜日の5時からということですのでよろしいでしょうか。特になければ、1月6日月曜日に次回ということで、そのときに先ほどから山崎さん御指摘のリヤドの報告会並びに来年の日本IGFをどうするかという議論もぜひ加えていただければと思います。

ほかに何か案件はございますか。

【荻原】 データ通信課の荻原です。

【加藤】 荻原さん、よろしくお願いします。ちょっとお声が小さいんですけれども。

【荻原】 ちょっとイヤホンの設定が問題でした。すみません。

単純な質問になってしまい大変恐縮なんですけれども、IGFはオンラインで参加しようかなと私のほうでは思っておりまして、そうすると、セッションごとにアクセスすると、Zoomのリンクとか張ってあったりする会合があったり、張ってなかったりする会合もあったりするんですけれども、その違いについて気になるのと、あとZoomリンクが張って……。

【加藤】 もしもし。御質問は、Zoomのリンクが張ってないと、どうやって入るのか、入れないのかということかなと思うんですけど、どなたか。

【荻原】 すみません、ちょっとマイク切れちゃいました。

【加藤】 お答え……、どうぞ。

【荻原】 Zoomリンクが張ってないサイトとかあるんですけれども、それは後の更新とかで張っているとかってありますか。基本的に全部のセッション参加できるという認識で合っていますでしょうか。すみません、長々と。もし有識者の方がいらっしゃいましたら教えていただけますと。

【加藤】 いかがでしょうか、どなたか。

【山崎】 山崎です。

全部のセッションがリモートで参加できるわけではなくて、例えば田中さんのセッション、あれはLaunches and Awardsでしたっけ。

【河内】 違います、Lightning Talks。

【山崎】 Lightning Talksはリモートで入れないと基本的になっているみたいです。

【河内】 オンサイトですね。

【山崎】 ほかはできるんじゃないかと思うんですけれども、はっきりこれはリモートオーケー、これはリモートしないと書いてあるのは私見ていないので。ただ、今週になってまだリンクが書いていないということは、やらない可能性もありますね。

ただ、Zoomだけでしか参加できないということではなくて、ユーチューブライブで流すはずなんです。ただ、あれはセッション単位ではなくて会議室単位なんです。ですから、メインホールは1日8時間流しっ放しと。だから、御覧になりたいセッションの部屋は分かるはずなので、その部屋のユーチ

ューブのチャンネルを見つけて、その時間に視聴すれば見られるはずということになります。ですから、Zoomがなくてもユーチューブで見えるということは、ひょっとしたらあるのかもしれないです。

【加藤】 見えるということと参加できるということの御質問もあるのかなと思ったんですが。

【山崎】 そうですね、ユーチューブだと参加までは。単に見るだけになっちゃうでしょうね。コメントが使えるのか、コメントしたとして、それを向こうが拾ってくれるのかとか、そこまでは私も把握できていないです。

【加藤】 一応オンラインコーディネーターとかオンラインモデレーターとかを決めているようなところは、拾うようにはしているんでしょうけど、それは普通のワークショップですよ。

【山崎】 ワークショップとオープンフォーラムでしたら確実に入れるかと思いますが。

【加藤】 そうですね。

【荻原】 ありがとうございます。すみません。

【加藤】 少なくともメインセッションとか、そういう大きなのはまず間違いなく大丈夫ですね。

【荻原】 ありがとうございます。引き続き情報を集めていこうと思います。

【加藤】 山崎さん言われたとおり、今まだZoomのリンクが張っていないものはそのままか、土壇場で設備が完成してリンクが決まったという可能性はあるかもしれないですね。いろんなアップデートが遅れていたの。今週になってから最後、河内さん、スケジュールのアップデートがありましたよね。

【河内】 はい。今日も新しいのが出ていて、昨日だか出ていて、そんなに大きく変わっているわけじゃないんですけど、違っていたりする。多分まだ本当に、当日になればリンクは出ると思います。

【加藤】 出る部分もあるかもしれないですね。

【河内】 はい。じゃないかと思います。

【加藤】 ありがとうございます。皆さん、ほか、いかがでしょうか。

時差があるので、荻原さん、ぜひ体を壊さないようによろしくお願いします。

【荻原】 気をつけます。ありがとうございます。

【加藤】 皆さん、ほかによろしいでしょうか。

それでは、これで今日の会合は終了させていただきたいと思います。皆さん、まだ少し早いですが、よいお年をお迎えになって、1月からまたよろしくお願ひしたいと思います。今日は本当にありがとうございました。それでは、これでお開きにしたいと思います。失礼いたします。